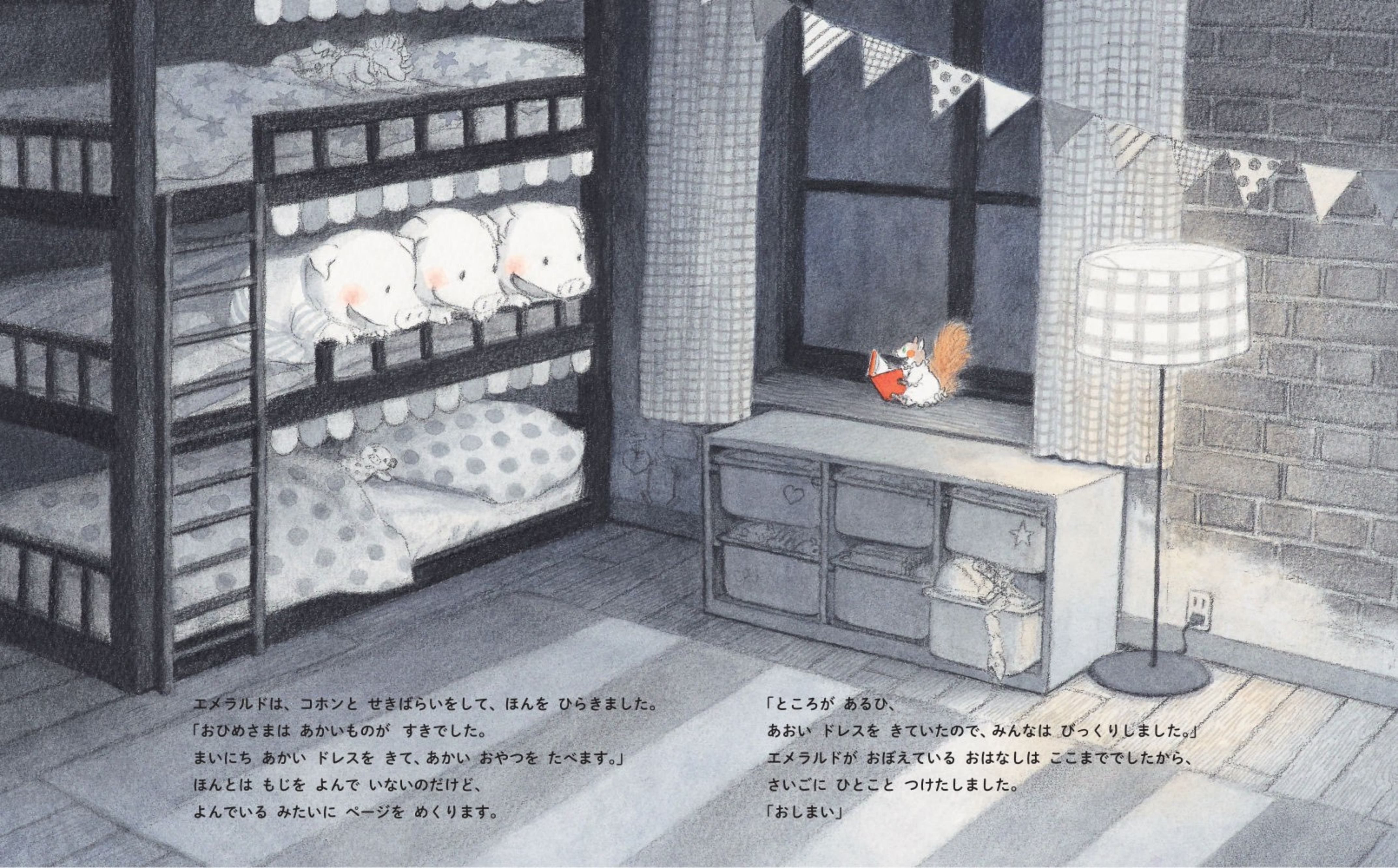




「さあ エメラルド、ねる じかんだよ」
ちいさな りすの エメラルドは、まだ ねむたくないけれど、
おふとんにはいりました。
いつだって うさぎの ガーネットが ほんを よんで くれれば、
すぐに あくびが できるんですから。

「むかしむかし ある くんに あかが だいすきな
おうじょさまが いました。
おうじょさまが きるものは いつも」
あか、という まえに、ガーネットの ながい みみが、
ぴん、と、げんかんへ むきました。
「おや、だれか きたみたい」



エメラルドは、コホンと せきばらいをして、ほんを ひらきました。
「おひめさまは あかいものが すきでした。
まいにち あかい ドレスを きて、あかい おやつを たべます。」
ほんとは もじを よんで いないのだけど、
よんでいる みたいに ページを めくります。

「ところが あるひ、
あおい ドレスを きていたので、みんなは びっくりしました。」
エメラルドが おぼえている おはなしは ここまででしたから、
さいごに ひとつこと つけたしました。
「おしまい」